

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和2年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再生可能エネルギー導入活性化事業
補助事業者名	鹿児島県
補助事業の概要	鹿児島県には畜産バイオマスや小水力発電など未利用の再生可能エネルギー資源が多く存在し、それらの情報の把握が煩雑なことや地域とのつながりの確保に苦勞するなどの課題がある。これら再生可能エネルギー導入に当たっての調査・分析や課題解決をサポートするための仕組み作りを行った。 ① 畜産バイオマスエネルギー導入活性化事業 ② 小水力エネルギー導入活性化事業
総事業費	14,646,760円
補助金充当額	14,646,760円
定量的目標	1 畜産バイオマス発電の導入件数 0箇所（令和元年度） → 2箇所（2022年度）  2 小水力発電の導入件数 11箇所（令和元年度） → 22箇所（2022年度）
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	1 畜産バイオマスエネルギー導入活性化事業 令和2年度は導入可能性調査を実施し、原料収集方法、メタン発酵ガス化の技術・コスト・安全性、消化液の利用等に関して調査・検討、概略モデルの作成、事業コストの試算を行い、事業実施可能性を評価し、事業者等に示す情報を収集・整理するとともに、調査を通じて市町村の畜産バイオマスのエネルギー利用に対する理解を深めた。 自治体等の調査の中では「家畜ふん尿を原料とするバイオガスプラント事業」に対する関心や「バイオマス利活用による地域貢献」への期待などの意見が得られた。 その結果、畜産バイオマス導入について3地域で検討が開始された。  2 小水力エネルギー導入活性化事業 令和2年度はマッチング会を開催し、地域と事業者が意見や情報を交換する場を提供し、事業化の促進を図った。 一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から先進地視察は中止としたが、候補地等の概要をとりまとめた事例集を配布することにより、先進的な取組を紹介し、小水力発電導入に対

	<p>する理解促進を図った。</p> <p>その結果、新たな小水力発電所が1箇所導入され、4箇所 新規事業の検討が開始された。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約</p> <p>(※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)</p>	契約の目的	畜産バイオマスエネルギー導入活性化事業 (導入可能性調査)
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方	バイオマスリサーチ株式会社
	契約金額	14,641,000円
来年度以降の事業見通し	<p>1 畜産バイオマスエネルギー導入活性化事業</p> <p>令和2年度の基礎調査結果をもとにモデル化が可能な地域において、事業化の検討や理解の促進を図り、事業者への事業機会の提供に向けた環境整備（モデル化）を行う。</p> <p>2 小水力エネルギー導入活性化事業</p> <p>先進地視察により小水力発電についての理解を深め、さらには、これまで導入の進んでいないマイクロ水力についても理解促進を図る。また、継続してマッチング会を開催することによって新規の事業化を促進する。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。